

「大腸がんが増えている」ってホント?!

大腸がんが診断される人は、近年増加しています。「2016年の部位別罹患数」では、**全国1位**となっており、**がんの中で最も多くかかっているのが大腸がん**であるということが分かります。^(※1) 大腸がんは、「がんの主な部位別の死亡数(全国)」では肺がんについて2位、特に**女性ではがんの死亡数のトップ**になっています。^(※2)

大腸がんは、適切な治療を受ければ多くの場合治すことが可能とされていますが、死亡数を減少できていないのが現状です。少しでも、死亡数を減少させるためにも予防と検診による早期発見が大切です。

● 2016年の罹患数(全国がん罹患数)が多い部位

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	胃	前立腺	大腸	肺	肝臓
女性	乳房	大腸	胃	肺	子宮
男女計	大腸	胃	肺	乳房	前立腺

※1 厚生労働省 全国がん罹患数2016年

● 2017年の死亡数(全国)が多い部位

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	胃	大腸	肝臓	膵臓
女性	大腸	肺	膵臓	胃	乳房
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓

※2 国立がん研究センター がん情報サービス がん統計



予防に関しては運動編(4ページ)、食事編(5ページ)を参考に!

? 大腸がんって自覚症状あるの?

早期にはほとんどありません!!

がんに気づかずにいると進行し、便秘、下痢、血便、腹痛、便が細くなるなどといった自覚症状が現れます。このような自覚症状が現れた場合には、検診ではなく、医師の診察を受けましょう。

? 大腸がん検診ってどんな検査なの?

検診では便潜血反応検査が行われます。便潜血反応検査は便の中に見えないようなわずかな出血を含め、血液が混入しているかどうか調べる検査です。検査の方法は、通常採便棒で便の表面をまんべんなくこすり、2日間(2本)とって容器に入れて提出するだけです。検査は自宅で行うことができ、食事制限の必要もない簡単な検査です。(生理の時や胃バリウム検査後は、採取を避けてください) また便の提出は、ご家族の方など代理の方でも提出可能な場合があります。(詳しくは検査キットに入っている説明書をご覧ください。)



? 結果が「要精密」といわれたら?

「便潜血反応検査で陽性=大腸がん」というわけではありません。痔がある方は、出血が痔のせいだと思いきみ、精密検査に行かれない方もいらっしゃいます。陽性になった場合は「痔だから陽性になった」とは思いません、必ず精密検査を受けてください。



大腸がん検診(便潜血反応検査)を毎年受けることで...

大腸がんによる死亡率を約60~80%、進行がんは約50%減らせるといわれています!

(大腸がんのことがよくわかる 大腸がん情報サイト 監修:小泉和生先生)

? 検診を受けるにはどうしたらいいの?

40歳を過ぎたら、大腸がん検診を年に1回受けることを勧めています。お住まいの市町村や職場、人間ドックなどの医療機関の健康診断で実施しています。検診料は、市町村や職場によって異なりますが、おおよそ1000円以下です。詳しくは市町村の窓口や職場に直接お問い合わせください。

